

令和3年度～令和7年度
第4期みどりのわ・ささえ愛プラン
十日市場団地地区 地区別計画

十日市場団地 地区



撮影 山口等さん(7街区在住)

十日市場団地地区は、昭和30年代に建設され、丘陵に沿って棟が並ぶ約2,500戸の大規模市営住宅を中心とした地区です。高齢化率は40%を越えているため、住民間での見守りや支え合い、転入住民とのつながりづくりが目下の課題になっています。市営住宅の間には、URの集合住宅があります。また20、21街区が開発され、令和元年11月にまちびらきイベントが行われました。さらに、令和5年3月には22街区のまちびらきが予定されています。

十日市場団地地区の人口5,293人 [令和3年3月時点]

14歳以下：468人(8.8%) / 15～64歳：2,651人(50.1%) / 65歳以上：2,174人(41.1%)



みどりのわ・ささえ愛プラン(緑区地域福祉保健計画)とは「誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして」を基本理念とし、「一人ひとりが主役・共に支え合うつながりのあるまちづくり」を進められるよう、区域計画と11の地区別計画で構成されています。

みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画リーフレットの音声訳版はこちら →



誰もが「住んで良かった」 「住み続けたい」まち 十日市場団地

重点取組 & 具体的な活動

重点取組 1 地域での「見守り」を進め、 支え合える地域にしていきます

【具体的な活動】

- お茶飲み会や昼食会、配食サービス、清掃活動など、日頃の活動を通してゆるやかな見守りを継続します。
- 交流の場への参加が難しい人も孤立することがないように、自治会や民生委員・児童委員をはじめ、各団体が協力し、地域住民同士が見守り合う方法を検討します。
- 認知症等についての正しい理解を深めるなど、関係機関と連携した見守りの方法について学ぶ機会づくりを進めます。



▲駐車場委員会による清掃活動
見守り・交流の場の一つにもなっています



▲各公園の愛護会による手入れで、きれいになった公園

重点取組 2 地域活動を充実させ、地域の中で 「つながり」をつくっていきます

【具体的な活動】

- 誰もが参加できるよう、これまで取り組んでいる活動を継続するとともに、活動内容や開催方法を工夫します。
- 子ども村や世代間交流イベント、ラジオ体操、防災訓練などを通して、子どもから高齢者まで幅広くつながりを感じられるよう取り組みます。
- 初めて来る人も参加しやすい活動を実施することで、転入住民との交流を深めます。



▲防災訓練
十日市場中の屋上プールから仮設トイレにホースをつなぎます

重点取組 3 地域の情報の発信に取り組みます

【具体的な活動】

- 地域活動の案内チラシについて、引き続き目に届きやすい場所への掲示を行うことができるよう管理組合等と連携します。
- 行事、イベントなどの周知を効果的に行うことができるよう、電子媒体の活用など広報の仕組みについて考えます。
- 会議や行事などの機会をとらえ、様々な情報の発信を進めます。



▲登下校の見守り



▲保健活動推進員による「らくらく体操」

お楽しみ昼食会



▲お楽しみ昼食会ボランティア

みなさんが楽しみにしてくれるので、私たちにとってもはりあいいなっています！
多くの方のご参加をお待ちしております。
十日市場団地連合自治会
会長 川村 武子



《参加者の声》

「とても美味しい手作りの食事で、毎月楽しみにしています。」
「コロナ禍でしばらく会えなかった友人とばったり会えました。昼食会があってよかった！」
「車いすで入れる場所がまだまだ限られているので、参加できてうれしいです。」

お茶飲み会

《参加者の声》

「ボランティアのみなさんが一生懸命レクリエーションをしているのを見ると、私も元気になれる。」
「知らない人とも話ができるし、こんな人がこの団地に住んでいたのか、というのが分かるので、これからは参加したいです。」
「コロナ禍ということもあり、同じ団地に住んでいても会う機会が減っているの、みんなの顔が見られるのはうれしいです。」

井戸端会議の延長だと思って、みなさんに気負わず寄って欲しいと思っています。知らない人とも顔見知りになったり、仲良くなれる場所です。お茶を飲みながら、楽しくお話しませんか？
民生委員・児童委員 笠原 紀代子



▲お茶飲み会ボランティア

十日市場団地地区ボランティアセンター

《利用者の声》

「高齢になり、ひとり暮らしなので掃除やごみ捨てに困っていましたが、ボランティアの方にお願ひできて本当に助かっています。ボランティアさんとお話しするのも楽しみです。」



▲地区ボランティアセンター世話焼き会のみなさん

十日市場団地内にお住まいの方々への生活支援のボランティアをしています。地域に根付くよう、これからも頑張ります。
地区ボランティアセンター世話焼き会
コーディネーター 平井 仁女

第3期 目標1

地域が団結して、「つながり」を作り
あらゆる世代の交流を広げよう

第3期 目標2

連携して、「見守り」を進め
いつまでも支えあえる地域を目指そう

第3期 目標3

健康や交流を意識した取組を進め
地域をもっと元気にしよう

第2期

第3期

平成28年度

平成29年度

平成30年度

令和元年度

令和2年度

「十日市場団地お茶飲み会」



毎月開催
近隣の園児も歌や踊りを披露したり
多世代交流の場となっている

夏休みには中学生ボランティアによるお手伝い

「住連通信」

第500号を達成

「子どもの居場所づくり検討委員会」が始動

「こども村」オープン



一時休刊

公園管理や清掃活動を通しての
つながりづくり・見守り

「ボランティアセンター」スタート

住民同士の顔の見える関係づくり



「一人ぼっちにさせないために
マグネットシート」を全戸配布

「るるる*オアシス」



話し相手、買い物支援などのメニューもあり

公園愛護活動

ラジオ体操は参加者が増加

「ぴちぴち健康教室」

スポーツを通じた交流

公園が近い自治会はウォーキングやラジオ体操
老人会を中心にグラウンドゴルフやベタンクで交流

グラウンドゴルフで交流と健康づくり



元気づくりステーション
いきいき会

新型コロナウイルス感染症のまん延により多くの活動が一定期間の中止や縮小
その後 感染予防や開催方法の工夫をしてできるところから活動を再開

工夫をして活動したり、できるところから活動再開

住宅だより発行

問い合わせ先

横浜市緑区役所福祉保健課
横浜市緑区社会福祉協議会
横浜市十日市場地域ケアプラザ

住所：緑区寺山町118
住所：緑区中山2-1-1
住所：緑区十日市場町825-1

電話：045-930-2304
電話：045-931-2478
電話：045-985-6321

FAX：045-930-2355
FAX：045-934-4355
FAX：045-985-6325